

# 動 き

## 長野市陸上競技協会 会報 第 35 号

発行日 平成 24 年 1 月 1 日  
発行所 長野市陸上競技協会  
発行人 内山 了治  
編集人 田島 康彦  
URL: <http://nriku.jp/>  
E-mail: [info@nriku.jp](mailto:info@nriku.jp)

題字：長野市陸協  
三代目会長 山浦 保氏



長野市陸協グループの記念写真 12/11 於: THE SAIHOKUKAN HOTEL

### 大竹 義雄先生 秩父宮章祝賀会開催

### 日本選手権混成競技 長野市開催決定 6/2-3

### 速報全国高校駅伝女子 長野東高校 8位入賞

### 新年を迎えて

#### 長野市陸上競技協会 会長 寺島 大士

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、長野市陸協会員はじめ多くの皆様方に、大会運営事業、各種大会の審判、また、選手育成等に格段なるご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、先ず 3 月 11 日の東日本大震災により亡くなられた多くの方々にご冥福をお祈り申し上げますとともに、長野県北部地震により被害を受けられた皆様方にお見舞い申し上げます。競技面では 5 月の第 21 回市町村対校駅伝で 12 連覇、第 6 回市町村対校小学生駅伝で 2 連覇をそれぞれ達成し、アベック優勝することができました。また、長野高校 2 年の滝澤彩選手が第 9 回世界ユース陸上競技選手権大会 400m ハードルにて 4 位入賞、全国高校総体でも優勝し、長野市からの久しぶりの快挙となる成果を残してくれました。11 月の第 60 回長野県縦断駅伝では、昨年に続き優勝を目指しましたが、2 日目最終区間にて逆転されて惜しくも 2 連覇はなりませんでしたが、しかし、選手・スタッフは丸となり立派な成績を残してくれました。

今年は、日本選手権混成競技大会を主管しロンドン五輪への橋渡し役を果たさなくてはなりません。日頃からご支援ご協力を賜る長野市教育委員会体育課および長野市体育協会の皆様はじめ多くの企業・事業主の皆様、そして会員の一層のご理解ご協力が是非とも必要です。どうか競技力の向上、本会の充実・発展のために本年も宜しくお願いたします。

### 特別寄稿

#### 日本選手権混成競技大会 「長野に期待するもの」

#### 日本陸上競技連盟

#### 専務理事 尾 縣 貢



いまスポーツの世界に変革の波が押し寄せています。1961 年制定のスポーツ振興法は、50 年ぶりに全面改正がなされ、スポーツ基本法として成立しました。その中で、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことはすべての人の権利」という権利の規定が示された一方で、「優秀なアスリートの育成を支援することが国の責務」と、競技者の強化についても明示しています。また、2010 年 8 月に発表されたスポーツ立国戦略では、国家の視点から具体的なスポーツの普及・強化のあり方が述べられ、スポーツ立国を目指す国家戦略としての方針が示されました。すなわち、国家としてスポーツの意義を再考し、戦後から長く続いたわが国のスポーツ政策の見直しを行い、新たな一歩を踏み

#### ☆☆ もくじ ☆☆

<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 新年を迎えて…………… 1</li> <li>&gt; 長野に期待するもの …… 1</li> <li>&gt; 日本選手権混成競技大会… 2</li> <li>&gt; 秩父宮章祝賀会のお礼… 3</li> <li>&gt; 日本ジュニア・ユース大会… 3</li> <li>&gt; ジュニアオリンピック… 4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 第 60 回長野県縦断駅伝… 5</li> <li>&gt; 県縦初優勝、市陸協の取組み… 6</li> <li>&gt; 県縦長野市チームのあゆみ… 7</li> <li>&gt; 全国中学駅伝に出場して… 8</li> <li>&gt; Member's Corner_5th… 8</li> <li>&gt; Hope さん…………… 8</li> <li>&gt; 編集後記…………… 8</li> </ul>
--	---

出したと言えます。

この波は、スポーツ界の様々なものを変えていくことでしよう。それは、普及・育成活動のあり方、強化活動のあり方、指導者育成および人材の活用、地域スポーツクラブの運用、国際大会の誘致など様々な分野に及んでいくでしょう。これらの変化を素直に受け入れるためには、これまでの既成概念を一度洗い流してしまう必要があります。そして、継承すべきものを明確にしたうえで、新しいものとの融合を考えていかなければなりません。日本陸上競技連盟としても、これを機に種々の活動を見直し、改革を進めていきたいと考えています。

そこで最初にやるべきことは、日々変わりゆく状況を把握しながら、常に将来を見据えた確固たる長期プランを持ち、それを基に継続的に活動を続けることです。具体的には、来年に迫ったロンドン・オリンピックのための短期の重点強化方針およびプラン、2016 年のリオデジャネイロ・オリンピックを見据えた中期強化方針およびプラン、そしてそれ以降の陸上競技界を担う競技者を育成するための長期育成・強化方針およびプランなどを設定し、そして活動を実践していくことです。

これらを可能にするために、様々な“連携”を大切にしていきたいと考えています。なかでも最も重要となるのは、加盟団体である都道府県陸上競技協会との連携です。都道府県レベルでの普及、育成・強化活動、そして競技会の運営こそが日本の陸上競技界の根幹をなすものであると言えます。

平成 24 年度からは、日本陸上競技選手権大会（混成競技）及び日本ジュニア陸上競技選手権大会（混成競技）を長野県で開催していただくことになっており、新たな連携が生まれます。日本選手権は、8 月にロンドンで開催されますオリンピックの選考競技会、日本ジュニア選手権は、7 月にバルセロナで開催されます世界ジュニア選手権の選考競技会でもあり、日本陸連にとっても極めて重要度の高い競技会です。長野の地で熱戦が展開され、長野から世界へ飛び立つ競技者が多く出ることを期待しています。どうか二つの競技会が成功裡に終わりますよう、ご準備いただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、長野陸上競技協会・長野市陸上競技協会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

## ◆日本記録◆

十種競技 8073 点 右代 啓祐(スズキ浜松 AC)

11/06/04～05、日本選手権、等々力

100m	走幅跳	砲丸投	走高跳	400m
11.39	6m96	13m71	2m06	50.28
776点	804点	711点	859点	802点

110mH	円盤投	棒高跳	やり投	1500m
14.93	43m67	4m90	73m06	4.35.83
858点	740点	880点	936点	707点

<8000 点を超えるために…各種目 800 点近い記録…>

100m	走幅跳	砲丸投	走高跳	400m
11.27	6m95	15m16	2m00	50.32
801点	802点	800点	803点	800点

110mH	円盤投	棒高跳	やり投	1500m
15.41	46m59	4m64	64m09	4.21.77
801点	800点	802点	800点	800点

## 日本選手権混成競技大会について

大会実行委員長 伊藤 利博

日本選手権混成競技大会が、長野市で開催される事が 12 月 15 日の日本陸連理事会で決定され、いよいよ本格的に準備開始をしなければという、責任の大きさを感じております。当初この大会を長野県で開催という話があった時、施設、用具等で長野より備わっている松本開催を予定しておりましたが、陸連の意向や選手達の気持ちを考慮した時に、交通のアクセス、記録の期待が出来る事等を考えた時、陸連として両方の競技場を視察して決定したいという事で、9 月に陸連関係者に視察をいただき、長野市での開催が決定されました。

その後陸連サイドから大会に関する、施設面等の要望があり、内山理事長を中心に市との折衝に奔走していただいたり、競技会への視察等を踏まえて、県陸協として実行委員会を立ち上げ本格的な準備が始まりました。大会規模は、十種と七種競技の選手は 50 名ならずで、ジュニアの部も併設しますが、ジュニアは 20 名位です。このように参加人数が少ないため如何にこの大会を盛り上げてオリンピック標準記録を突破してもらうかが、この大会の成功の鍵を握るかと思えます。

従ってサブイベントを実施したり、中・高校生を動員したりして人集め作戦をして行かなければ、と思っています。

ビッグ大会が長野県で開催されますのは、久しぶりでもあり、長野県下の若い選手達に良い刺激を与えてくれるのではないかと、期待しております。

会員の皆様方には、ご協力をいただいたり、アドバイスをいただいたりして、大会の成功のために大変お世話になります。ご協力をお願い申し上げます。

### ○実行委員会メンバー

委員長	伊藤 利博	長野陸協副会長
副委員長	細田 完二	長野陸協理事長
同	浦野 義忠	長野陸協副理事長
同	内山 了治	長野市陸協理事長
事務局	宮坂 典明	長野陸協総務委員長
委員	寺島 大士	長野市陸協会長
同	杉崎 憲雄	長野陸協経理委員長
同	内堀 俊彦	長野陸協庶務部長
同	藤森 茂幸	長野陸協審判委員長
同	玉城 良二	長野陸協強化普及委員長
同	戸谷 直喜	長野市陸協競技部長
同	小林 至	長野県高体連専門委員長
同	長田 貴	長野県中体連専門委員長

七種競技 5962 点 中田 有紀(さかえクリニック)

04/06/04～05、日本選手権、布勢

100mH	走高跳	砲丸投	200m
13.97	1m75	11m74	25.02
983点	916点	644点	885点

走幅跳	やり投	800m
6m41	43m16	2.19.67
978点	728点	828点

男子投擲重さ:砲丸投 7.26kg、円盤投 2.00kg、やり 800g

女子投擲重さ:砲丸投 4.00kg、やり 600g



祝 大竹義雄先生 秩父宮章受章祝賀会



ご来賓の皆様

秩父宮章

大竹義雄先生秩父宮章祝賀会は、12月11日長野市THE SAIHOKUKAN HOTELにて、盛大に開催された(出席105名)。

### 秩父宮章 受章祝賀会のお礼

#### 大竹 義雄

私の秩父宮章受章にたいしまして、長野市陸上競技協会が中心となり、祝賀会実行委員会を設け受章祝賀会を催していただき、感激の極みであり恐縮いたしております。

さて、私は昭和32年飯田風越高校教員として第一歩を歩み出し、昭和34年第3種公認審判資格を取得以来今日まで、選手の育成や協会の運営にかかわりながら何も誇れるような

事柄は残し得ませんでした。それにもかかわらず、県陸協・東海陸協のご推薦により秩父宮章を受けさせていただきましたが、内心忸怩たるものを強く覚えています。この受章は、偏に皆様のご指導・ご支援並びに良き選手の賜物と感謝申し上げます。今後はこれまでにいただきました励ましのお言葉やご叱正を胆に銘じ、微力ながら陸上競技の発展とスポーツの振興に努めて参りたいと思います。

終わりになりましたが、長野市陸上競技協会のご発展と皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、お礼の言葉に代えさせていただきます。

### 日本ジュニア・ユース大会

#### 市陸協強化普及部長 藤森 要

(長野吉田高校顧問)

去る10月21日～23日、第27回日本ジュニア、第5回日本ユース陸上競技選手権大会が瑞穂運動公園陸上競技場で開催されました。この大会は、ジュニアの部には大学1年生と高校3年生が、ユースの部には高校1・2年生が出場します。出場するには標準記録が設定されており、インターハイ、国体と並ぶビッグ大会の1つです。

今回長野市内高校関係から6名の選手が出場し、うち4名の選手が入賞を果たしました。シーズン締めくくりのビッグ大会で自己記録を更新した選手もあり、また新たな課題も見つけることもでき、来年の新潟インターハイに向けて収穫の多い大会となりました。



左から Y400mH 2位中野君、Y400mH 3位瀧澤さん、同4位内山さん、Y800m 7位木田さん Y:ユース

氏名	学校名	学年	出場種目	結果
今村迅人	北部高	3	ジュニア(J)200m	予選2組6着 22" 37 (+0.8)
中野直哉	長野吉田高	2	ユース(Y)400mH	予選1組2着 52" 61
〃	〃	〃	〃	決勝 2位 51" 71 (自己新)
木田真美子	長野吉田高	2	女子ユース800m	予選1組4着 2' 11" 65 (自己新)
〃	〃	〃	〃	決勝 7位 2' 15" 23
瀧澤 彩	長野高	2	女子ユース400m	予選3組5着 56" 86
〃	〃	〃	女子ユース400mH	予選1組1着 1' 00" 20
〃	〃	〃	〃	決勝 3位 1' 00" 08
内山成実	長野吉田高	1	女子ユース400m	予選3組4着 56" 63 (自己新)
〃	〃	〃	女子ユース400mH	予選1組2着 1' 01" 14 (自己新)
〃	〃	〃	〃	決勝 4位 1' 01" 39
大日方紗愛	学園長野高	2	女子ユース三段跳	決勝 17位 11m08 (+1.1)

## 第42回ジュニアオリンピック

長野県中体連陸上競技専門委員長 長田 貴

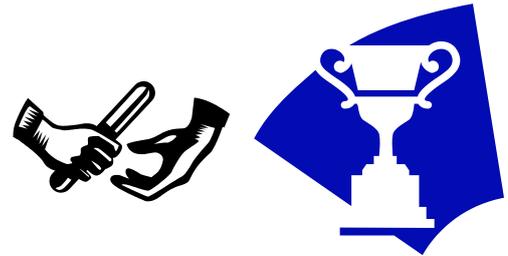
(長野市立北部中学校顧問)

今年度のジュニアオリンピックは、男子8名、女子2名の計10名の参加でした。長野市を中心に、北信地区の参加人数は17名と、全体の約半数の参加をすることができました。これも、各学校の顧問の先生やコーチの皆様のご尽力だと思っております。ありがとうございました。ここまで、参加数が増えたのは、長野市、北信地区の陸協のご協力による、記録会・

講習会の開催が大きく関わっていると思います。記録会・講習会に参加する事により、選手たちは、ライバルの様子、取り組みが目に見えて分かり、今後の目標を決める事ができたと思います。顧問の先生方も、他校の様子を知ったり、練習方法を確認することができたりして、学校に帰って活かす事ができていると思います。このように、長野市・北信地区全体でレベルアップや底上げができてきているから、ここまでの強化ができていていると思います。今後も、長野市・北信地区の陸協の方々のお力添えをしていただきながら、中学校全体で、強化を図っていききたいと思います。強化を図りながら、今後考えていかなければいけないのが、ジュニアオリンピック大

会を、もっと認知させていくことだと思っています。中学生の一つの目標が、8月に行われる北信越大会、全国大会です。

この認知度は、どの学校でも高くありますが、ジュニアオリンピック大会が10月にある事が、選手や顧問の先生方にあまり認知されていないのではと感じる所があります。その結果、3年生にとっては、8月で一度目標が終わってしまうので、ジュニアオリンピック大会に向けて、モチベーションを改めて上げていく必要があります。そのことにより、練習への取り組み姿勢、調整が難しくなっている状態があるように思います。早い段階で、選手を決められればいいのですが、現状では難しいので、ジュニアオリンピックまで大会がある事をふまえた、講習会や、新たな練習会を考えていく事が今後必要になってくると思います。これからも、中学生の強化のために、陸協の方々のお力をお借りしながら、さらに頑張っていきたいと考えています。



## 第42回ジュニアオリンピック 長野市内中学生出場者 競技結果

期日：平成23年10月28日(金)～30日(日)

会場：日産スタジアム

性種	No.	種目	選手名	学校・学年	予選	順位	準決勝	順位	決勝	順位	備考	
男子	A	1	100m	池田 彪我	川中島 3	11" 48 (+0.3)	5	11" 56	8			
		2	110mJH	尾形 優也	櫻ヶ岡 3	23" 66 (-3.6)	8				自己新	
		3	走高跳	芋川 駿	柳 町 3					1m83	22	自己タイ
	B	4	100m	松橋 大夢	犀 陵 2	11" 99 (-1.3)	6					
		5	110mH	大日方景都	櫻ヶ岡 2	16" 41 (-2.3)	4	16" 12 (-0.9)	8			
		6	砲丸投(4kg)	梨子下貴玲	長野東部 2					10m70	38	自己新
	A B C	7	円盤投(1.5kg)	中澤 弘輝	櫻ヶ岡 3					31m73	19	自己新
		8	ジャベリックスロー	大和 史明	長野日大 3					65m12	5	
		9	4×100mR	近藤 裕哉	伊那松川 1	43" 83	5	44" 28	8			チーム新(予選)
松橋 大夢				犀 陵 2								
三村 和久	岡谷東部 3											
			池田 彪我	川中島 3								
女子	A	1	3000m	玉城かんな	川中島 3	9' 46" 25	8			9' 38" 97	9	
	B	2	100mH	加納 茉弥	櫻ヶ岡 2	15" 77 (-1.2)	7					
	A B C	3	4×100mR	西村佳菜子	信明 1	48" 79	1	48" 80	5			
				高橋 奈弓	御代田 3							
金田 華実				浅間 2								
			加納 茉弥	櫻ヶ岡 2								

## 第60回縦断駅伝競走大会を振り返って

### 長野市駅伝部監督 田中 哲広

去る11月19日～20日・第60回記念長野県縦断駅伝競走大会が行なわれ、郷土の代表15チームが参加しました。

前回第59回大会において4年振り10回目の優勝は、1日目6分5秒もの差をつけられながら、2日目に選手一人ひとりが『決して最後まで諦めない』走り、過去最少の11秒のタイム差で劇的な勝利を飾ることができました。

今大会においても、連覇を目指し1年間チーム一丸となって取り組んで参りました。

レースを振り返ると、序盤は中高生の活躍もあり7区を終えた時点で、トップと65秒差の2位と理想的な展開でしたが、上り区間(8、9区)に入り、雨と厳しい寒さにも苦しむこととなり、選手は思うような走りが出来ませんでした。

しかし、白樺湖の下りに入ったところでキャプテンの小川選手が好走をみせ、11・12区を村澤選手が兄弟で踏ん張り、1日目はトップと17秒差の2位でゴールすることが出来ました。

2日目は、新設された女子中学生区間において小林選手が区間優勝、高校生の14区成田・15区玉城選手が厳しい区間を



順位	チーム名	通算時間	時間	順位	時間	順位
		216.7 km	1日目119.1km		2日目98.5km	
1	全諏訪	11:55:04	6:35:06	3	5:19:58	1
2	長野市	11:58:50	6:34:04	2	5:24:46	2
3	上田東御小県	12:02:33	6:33:47	1	5:28:46	3
4	上伊那	12:09:05	6:40:00	4	5:29:05	4
5	飯田下伊那	12:10:43	6:41:28	6	5:29:15	5
6	松本市	12:15:38	6:40:28	5	5:35:10	7

#### 【第1日】

区間	氏名	出場回数	所属	通算順位	記録	区間順位	記録	距離(km)	備考
1区	寺島 慧梧	2	長野県警察機動隊	8	35' 43	8	35' 43	11.6	
2区	保倉 聡	4	佐久長聖高校	4	59' 25	5	23' 42	7.8	
3区	西沢 晃佑	1	川中島中学校	3	1:11' 31	4	12' 06	3.7	
4区	吉良 充人	5	専修大学	2	2:02' 17	2	50' 46	15.6	
5区	玉城 かな	2	川中島中学校	1	2:12' 50	1	10' 33	3.2	
6区	青木 雅史	8	J R 東日本	2	2:54' 55	6	42' 05	13.0	
7区	小山 玄	3	長野高校	2	3:23' 17	3	28' 22	8.6	
8区	田中 章浩	7	長野電子工業(株)	2	4:01' 53	7	38' 36	10.2	
9区	秋山 勝美	22	N T T 東日本	3	4:41' 53	11	40' 00	9.5	
10区	小川 健三	10	長野市消防局	3	5:29' 27	3	47' 34	15.8	
11区	村澤 大輔	10	八十二銀行(株)	2	6:01' 03	2	31' 36	10.0	
12区	村澤 陽介	7	加茂小学校	2	6:34' 04	2	33' 01	10.1	

#### 【第2日】

区間	氏名	出場回数	所属	通算順位	記録	区間順位	記録	距離(km)	備考
13区	小林 希良莉	1	川中島中学校	1	6:40' 46	1	6' 42	2.0	
14区	成田 元一	1	佐久長聖高校	3	7:16' 03	6	35' 17	10.7	
15区	玉城 柁人	1	長野東高校	2	7:48' 58	10	32' 55	9.2	
16区	割田 雄磨	3	日本大学	1	8:20' 28	2	31' 30	10.4	
17区	平田 和也	5	長野赤十字病院	1	9:10' 08	1	49' 40	16.6	
18区	山田 祐也	2	長野東高校	1	9:43' 26	1	33' 18	10.0	
19区	小田切 綾乃	6	愛知電機	1	9:59:04	2	15' 38	4.3	
20区	松木 之衣	1	川中島中学校	1	10:13:18	10	14' 14	4.3	
21区	垂澤 直也	3	日本大学	1	11:09:21	7	56' 03	17.0	
22区	大久保 貴志	17	柄木田製粉(株)	2	11:58:50	8	49' 29	14.0	
補欠	徳武 雄次郎	14	小賀坂スキー製作所(株)	市川 裕貴	4	長野市陸協			
	太田 達也	7	JR東日本	小田切 将真	4	佐久長聖高校			
	中澤 恵美	6	富竹の里デイサービス	丸山 和輝	1	川中島中学校			
	山田 雄司	5	信州医療福祉専門学校	西本 梨花	1	川中島中学校			

懸命に走りぬき、16区の割田選手がトップを走る全諏訪チームに37秒差まで詰め、続く17区平田・18区山田選手の連続区間賞の好走により、2日間の総合タイムでもトップに躍り出ました。しかし、想定以上にタイム差をつけることが出来ず、最終区は2位で猛追する全諏訪チームは実業団選手を配しており、大久保選手の力走もありましたが2位でゴールテープを切る結果となりました。

目標としていた連覇は果たせませんでした。練習内容や選手一人ひとりのモチベーションなど…優勝した昨年度に比べチーム力は確実に上がっていると感じております。

今大会におきまして、長野市陸協の寺島会長はじめ各諸先生方、並びにチームに若い力を貸して頂いた中・高校生の監督・コーチの皆様方に心から感謝申し上げます。

## 県縦60回を振り返る・・・

長野市陸上競技協会忘年会と第60回長野県縦断駅伝長野市チーム慰労会は、去る12月1日(木)「長野第一ホテル」において、長野市長 鷲沢正一様、信濃毎日新聞社事業局長 吉川博様はじめ8名のご来賓と市陸協会員以外の歴代監督3名をお招きし、総勢41名により盛大に開催されました。

県縦60回の長野市チームの歴史は次ページに掲載しました。



## 20年間の思いが 夢の初優勝

### 元長野市チーム監督 土川 國人

32回大会は今年とは逆に最終区で上伊那を逆転し25秒差で初優勝できました。私は第12回大会、上水内チームで初参加し、それから21年目に「優勝監督」の栄誉を頂きました。先輩監督小山光義(義兄)さんから引継ぎ2年目です。

そのとき試合に勝つには運も欠かせないと感じました。中山竹通、福島正、深井郁夫の三本柱に加え登り坂に滅法強い佐々木雅俊選手(北野スキー部)が北海道宿舎からわざわざ助っ人に駆けつけてくれました。

長野市はそれまで勝つチャンスは何回か有りましたが、肝心な区間で重圧に負けてしまい取り逃がしておりました。この大会も14区だけで5分近く負け、貯金も借金に変わり、半分優勝は諦めて飯田ゴールで待ちました。しかし奇跡が起こりました、先頭ゴールは上伊那が切りましたが、なんと丸山健志選手が10秒後に飛び込んで来たのです。一転総合タイムでどちらが勝ったのか分からなくなり公式記録待ちとなりました。当時としての最少タイム25秒差で勝ったのです。

この大会では、それまで南信から出たことの無い「大会優勝旗」を長野市に持ち帰れたことは、北信地区にとっても大きな意義になったと思います。

御礼 次の皆様方から、長野市チームに過分なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。(会長 寺島)

(株)布屋ヤマウラ 代表取締役社長 山浦 智暁様

(株)アイ・アイ・エス 太田 圭二様

中央館清水屋旅館 社長 清水 翔太郎様

(株)長野スター商会 代表取締役社長 北原 和人様

(株)アイワ徽章 長野支店長 山口 雅章様

あかちようちん てらしま 社長 寺嶋 力男様

モトヤスポーツ 代表 塚田 實様

(株)車屋 HIZUME 代表取締役社長 日詰 文弘様

(株)宝来 長野店長 西村 義和様

(株)長野犀北館ホテル様

(株)JTB 中部長野支店 営業課長 江川 大輔様

【以下 市陸協会員(敬称略)】 依田邦夫 伊藤利博

西片功 大竹義雄 藤本勝彦 浦野義忠 柴澤英男

早川千吉郎 北原勲 早川幸 北島正孝 古田新造

平出勲 若松軍藏 土川国人 山田昭彦 玉城良二

渡辺誠一 村田修一 内山了治 寺島大士 以上

## 「県縦長野市陸協の取り組み」

### 総務部長 村田 修一

「長野市チーム」準優勝おめでとうございます。

優勝してあたりまえの「長野市チーム」そんな中でのこの成績、これは皆のチームワークの成果と思います。

さて長野市陸協では、例年県縦断駅伝競走のスタート地点に於いて大会を盛り上げるために各種イベント(お祭り騒ぎ)を、催しています。それもやっとな板につきつつあります。これらの催し物を、もっと多くの皆さんに楽しんでもらえればと願っております。

今回は、「やはり寒い出発地点だから暖かいものが欲しいな」という伊藤県陸協副会長のご提案とお力添えにより、牛乳配布場所で「暖かい甘酒」提供をすることができました。結構好評で、品切れ状態となりました。

- ① 「暖かい甘酒」：(有)酢屋亀本店(すや亀)さんより甘酒 200食分 をご提供いただき当日朝もって湯煎しておき、紙コップにて提供しました。
- ② 「Hot Milk」：JA 全農長野畜産酪農部酪農課さんより、農協牛乳 200ml を 900個提供いただき一部湯煎して選手・役員・応援の皆様へ配布しました。
- ③ 「柳町中学校ブラスバンド演奏」：約40名の生徒諸君に何曲も演奏していただきました。楽器は、長野市体育課(小林係長・北村係長)のご配慮で搬送していただきました。
- ④ 「スタート花火打ち上げ」 信州煙火工業(株)によりスタート合図で、号砲4号玉1発・3号玉2発を発砲しました。
- ⑤ 「元氣飴玉」 飴玉2個入の小袋を900袋作成、中に頑張ってくださいの文字入り。

以上、5種のイベントを行っております。今後とも長野市陸協の取り組みに関係各位のご協力をお願いいたします。また会員の皆様に於かれましてもスタート地点での盛り上げにご参加をいただければと思います。

## 長野市駅伝チームのあゆみ

回	開催年	距離km	順位	記録	監督	優勝	記録	優勝回数	備考
1	1952	221.9	9	14:50'18	百瀬 正 島田 信夫	下伊那郡	14° 12' 29	初	
2	1953	221.9	欠場			上伊那郡	13° 50' 36	初	
3	1954	221.9	欠場			上伊那郡	13° 45' 51	2	2年連続
4	1955	223.0	15	14:50'09	百瀬 正	下伊那郡	13° 32' 40	2	
5	1956	223.0	8	13:59'32	小林 長二郎	下伊那郡	13° 28' 32	3	2年連続
6	1957	223.7	6	13:43'56	小林 長二郎	飯田下伊那	13° 18' 14	4	旧下伊那郡 3年連続
7	1958	223.7	12	14:00'02	小林 長二郎	諏訪岡谷	13° 22' 40	初	
8	1959	224.4	16	14:28'58	高橋 和夫	全諏訪	12° 49' 47	2	旧諏訪岡谷 2年連続
9	1960	223.7	15	14:04'32	高橋 和夫	全諏訪	12° 44' 24	3	3年連続
10	1961	230.2	14	14:00'44	高橋 和夫	上伊那	12° 43' 18	3	
11	1962	231.4	7	13:27'22	山田 恒雄	上伊那	12° 40' 29	4	2年連続
12	1963	231.5	9	13:32'43	山田 恒雄	上伊那	12° 39' 12	5	3年連続
13	1964	231.5	6	13:12'08	山崎 福美	全諏訪	12° 31' 18	4	
14	1965	231.5	6	13:17'47	山崎 福美	全諏訪	12° 29' 10	5	2年連続
15	1966	231.5	6	13:09'33	中村 義明	全諏訪	12° 23' 39	6	3年連続
16	1967	212.3	4	11:46'41	中村 義明	全諏訪	11° 20' 50	7	4年連続
17	1968	200.2	4	10:44'28	寺島 大士	上伊那	10° 29' 19	6	
18	1969	200.2	3	10:41'42	轟 典男	上伊那	10° 25' 01	7	2年連続
19	1970	197.7	3	10:34'30	轟 典男	全諏訪	10° 18' 33	8	
20	1971	200.0	4	10:46'21	寺島 大士	上伊那	10° 24' 33	8	
21	1972	200.0	4	10:56'15	小山 憲慶	全諏訪	10° 38' 14	9	
22	1973	198.5	3	10:43'35	柴澤 英男	上伊那	10° 22' 27	9	
23	1974	198.5	3	10:51'21	柴澤 英男	上伊那	10° 29' 14	10	0 2年連続
24	1975	198.5	6	10:58'31	北澤 武夫	上伊那	10° 43' 50	11	1 3年連続
25	1976	184.9	5	10:38'29	北澤 武夫	上伊那	10° 10' 23	12	2 4年連続
26	1977	184.9	6	10:39'50	相沢 隆雄	上伊那	10° 10' 24	13	3 5年連続
27	1978	184.9	3	10:30'03	中島 義昌	上伊那	10° 06' 17	14	4 6年連続
28	1979	184.9	5	10:37'35	中島 義昌	上伊那	10° 15' 44	15	5 7年連続
29	1980	184.9	5	10:38'33	小山 光義	上伊那	10° 14' 25	16	6 8年連続
30	1981	189.0	2	10:27'09	小山 光義	上伊那	10° 18' 02	17	7 9年連続
31	1982	189.0	2	10:23'04	土川 国人	上伊那	10° 11' 31	18	8 10年連続
32	1983	189.0	1	10:13'27	土川 国人	長野市	10° 13' 27	初	
33	1984	189.0	1	10:23'27	土川 国人	長野市	10° 23' 27	2	2年連続
34	1985	189.0	1	10:10'42	牧野 義夫	長野市	10° 10' 42	3	3年連続
35	1986	207.6	1	11:09'04	牧野 義夫	長野市	11° 09' 04	4	4年連続
36	1987	206.1	2	11:05'16	吉原 雄一	上伊那	11° 04' 51	19	
37	1988	205.9	1	11:03'18	若松 軍藏	長野市	11° 03' 18	5	
38	1989	205.9	2	11:19'07	竹内 万祐	上伊那	11° 10' 22	20	
39	1990	205.9	2	11:34'32	竹内 万祐	上伊那	11° 28' 08	21	2年連続
40	1991	206.2	2	11:27'46	北島 正孝	上伊那	11° 11' 55	22	3年連続
41	1992	205.2	2	11:22'33	北島 正孝	上伊那	11° 06' 30	23	4年連続
42	1993	205.2	2	11:26'01	北島 正孝	上伊那	11° 23' 30	24	5年連続
43	1994	214.3	3	11:47'46	深井 郁夫	上伊那	11° 29' 19	25	6年連続
44	1995	215.1	3	11:56'41	北島 正孝	上伊那	11° 30' 29	26	7年連続
45	1996	215.1	2	11:47'56	土川 国人	上伊那	11° 38' 01	27	8年連続
46	1997	214.8	2	11:29'35	土川 国人	上伊那	11° 28' 15	28	9年連続
47	1998	216.0	2	11:46'45	丸田 徳次	上伊那	11° 44' 42	29	10年連続
48	1999	216.0	2	11:49'40	丸田 徳次	上伊那	11° 41' 15	30	11年連続
49	2000	217.6	2	11:46'20	土川 国人	上伊那	11° 41' 52	31	12年連続 連覇記録
50	2001	218.7	1	11:44'52	田中 哲広	長野市	11° 44' 52	6	
51	2002	218.7	2	11:50'28	田中 哲広	上伊那	11° 48' 42	3	
52	2003	218.7	1	12:07'50	田中 哲広	長野市	12° 07' 50	7	
53	2004	218.4	1	11:47'42	田中 哲広	長野市	11° 47' 42	8	2年連続
54	2005	218.4	3	11:53'19	田中 哲広	上伊那	11° 51' 44	33	最多優勝記録
55	2006	218.4	1	11:44'10	田中 哲広	長野市	11° 44' 10	9	
56	2007	218.4	2	12:02'04	北島 正孝	全佐久	11° 52' 53	初	
57	2008	217.1	4	11:55'06	北島 正孝	飯田下伊那	11° 50' 49	4	
58	2009	217.1	3	12:02'07	北島 正孝	上田東御	11° 55' 18	初	
59	2010	216.7	1	11:48'36	田中 哲広	長野市	11° 48' 36	10	
60	2011	217.6	2	11:58'50	田中 哲広	全諏訪	11° 55' 04	10	

(参考:「長野県縦断駅伝競走50年史」,長野陸協Web)

### 全国中学駅伝に出場して

#### 川中島中学校陸上部顧問 木村 雅樹

12 月 18 日に第 19 回全国中学校駅伝大会が山口県で行われ、長野市内の中学校として初参加となる本校陸上部女子駅伝チームは、「8 位入賞」を目標に本大会に臨みました。エース玉城を 1 区、準エース小林を 2 区に配置し、前半重視のオーダーで臨みました。レースは、2 区終了時点で 6 位と、入賞圏内につけました。3 区は本来、県、北信越駅伝で区間賞の新原を予定していましたが、故障のため 1 年生竹内を配置しました。県大会並のタイムで走るも、力不足は否めず 22 位、続く 4 区新原も故障で精彩を欠き 28 位に後退。アンカー西本はスピードのあるランナーですが全国で戦うにはまだ力及ばず最終順位は 27 位と、悔しい結果で終わりました。とはいえ、玉城以外は 1・2 年生という若いチームなので、この経験を来年につなげられたらと思います。

本大会出場にあたりあらゆる面でサポートして頂きました長野市陸協の方々、そして何より選手をここまで育てて下さった川中島 JRC 竹内万祐監督に、心よりお礼申し上げます。

**御礼** 川中島中学校全国中学駅伝チームへの激励金にご協力を賜り感謝申し上げます。大会前 12/13 に小澤千秋校長・木村監督を訪ね、お渡ししました。(会長 寺島)

(株) 布屋ヤマウラ 代表取締役社長 山浦 智暁様  
 (株) 中嶋製作所 代表取締役社長 中嶋 君忠様  
 渡辺商事株式会社 代表取締役社長 渡邊 一正様  
 長野商工会議所 常務理事 柳澤 明様  
 長野商工会議所 篠ノ井支部様  
 信濃毎日新聞社 事業局長 吉川 博様  
 信濃毎日新聞社 事業局事業部 前島 信一様  
 名古屋学院大学 松田 克彦様

【以下 長野市陸協会員(敬称略)】 伊藤 利博 大竹 義雄  
 西片 功 藤本 勝彦 浦野 義忠 中澤 次生 西内 勉  
 玉城 良二 村田 修一 内山 了治 寺島 大士 以上

## Member's Corner 5<sup>th</sup>

今回は新春にふさわしく  
**女子 4×400mR の元日本学生記録保持者**  
**竹内 昌子 先生**のご登場です



- ① 審判員登録初年度: 2011 年度
- ② 部署: 出発係、スターター
- ③ 楽しい瞬間、緊張する瞬間、審判員  
 冥利: 選手の本気を感じたとき
- ④ 過去に取り組んだ競技種目: 400m、800m
- ⑤ 現在のお仕事: 教員(高校)
- ⑥ コメント: 私は、選手時代、陸上競技を通して、たくさんの宝物を得ました。監督やコーチ・トレーナーさんや栄養士さんとの出会い、切磋琢磨する仲間・何でも話せる友達、そして、強くなるためには“人として”という部分が最重要だということや本気で取り組むことの面白さなど、経験してきたことの全てが私の財産となっています。今まで育てていただいた、長野県の陸上競技協会への恩返しの気持ちを込め、審判をさせていただいております。これからも、選手達が気持ちよく競技できるよう、努力していきたいと思っております。



★日本インカレ 4×400mR 優勝 福島大学 3 分 37 秒 66  
 当時の日本学生記録樹立、2002 年 9 月 8 日 国立競技場  
 ①坂水 千恵 ②木田 真有 ③竹内 昌子 ④久保倉 里美



### 第 26 回 Hope さん 学園長野高校 2 年 大日方 紗愛 さん

私は、今年岩手で開催された北東北インターハイに七種競技で出場しました。今回インターハイに出場して、全国の強さを肌で感じる事ができました。自分の弱さを知ることができたので、今後の練習や大会に活かしていきたいです。しかし、弱さだけでなく、強さも知ることができました。強さである走幅跳はさらに記録を伸ばし、苦手なやり投は、これから自分の強さに変えられるように練習していきたいです。そして、来年は七種競技で県高校新とインターハイ入賞をめざし、日々の練習をがんばりたいと思います。更に今年、七種競技の中の種目ではない三段跳にも挑戦し、日本ユースの出場権を手にすることができました。出場するからには何かを得て帰ってきたいです。

最後に、今私が陸上をやっているのは審判員の方々や運営して下さる方々、そして応援して下さる方々のおかげだと思うので、それらの方々に感謝の気持ちをもって練習に取り組んでいきたいです。

#### ◆ 連絡とお願い ◆

- ・長野東高校が全国高校駅伝女子大会初入賞を果たしました。監督・選手・スタッフ、ご関係の皆様本当におめでとうございます。本号は速報のみでしたので、次号で特集させていただきたいです。
- ・公益財団法人日本陸上競技連盟専務理事尾縣真様には、お忙しい中、特別にご寄稿いただき感謝申し上げます。日本選手権がご期待に添うものとなるよう、準備を進めて参りたいと思います。
- ・理事会は 2 月 4 日(土)午後 5 時、総会は 3 月 3 日(土)13 時の予定です。ご出席下さい。(理事長 内山)

#### ◆ 編集後記 ◆

現在行われている「全国高等学校総合体育大会」は、全国各地でそれぞれに開催されていた各競技種目別選手権大会を、昭和 38 年から名称を「全国高等学校総合体育大会」として統合し、現在に至ります。長野県での開催は、今から 35 年前の昭和 51 年(1976 年)に「自然と 友情と 躍進と」を大会スローガンに開催されました。昨年の 2011 年からは、県単独の開催からブロック単位での開催へと変更されました。今年は「君は今 希望とともに 緑の大地を駆けぬける」をスローガンに、北信越地区での開催となります。陸上競技は、新潟市:東北電力ビッグスワンスタジアムを会場に、各地域ブロック大会を勝ち抜いた各種目 66 名の選手による白熱した競技が展開されることでしょう。

昔からスポーツ選手の活躍は、人々を明るくし、元気を与えてくれます。松本山雅 C の J2 昇格(サッカ-)、奥原希望選手(仁科台中→大宮東高校)の全日本選手権優勝(バドミントン)は、地元住民に活力を与え、ジュニア選手にとっての大きな目標となっています。

2012 年、長野市内の若い選手たちが昇龍のごとく、台頭することを願っております。(広報部長 田島)

ご健闘を祈る

Track & Field

ATHLETIC UNIFORM

スクールスポーツウェア専門  
**しなのメイト株式会社**

(本 社) 〒389-0606  
 埴科郡坂城町大字上五明 992-2  
 TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337  
 (新潟営業所) 〒950-0823  
 新潟市東区東中島 2-18-41  
 TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216

THIS IS A CHALLENGE TO ME.